

3. 芽かき



株元を押さえてかきとる

4. 土寄せ



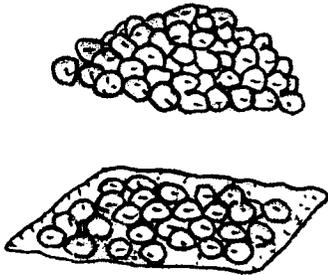
2回目の土寄せ

1回目の土寄せ

光があたると緑色になる

5. 収穫

積み上げると腐りやすい

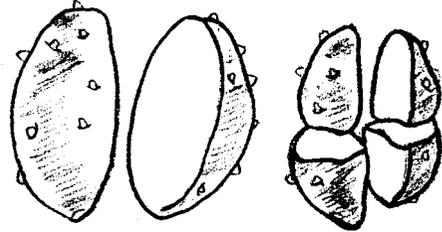


収穫したら積み上げない
ようにして日陰で乾かす

1. 種イモ



30~40gの大きさなら
切らなくてよい

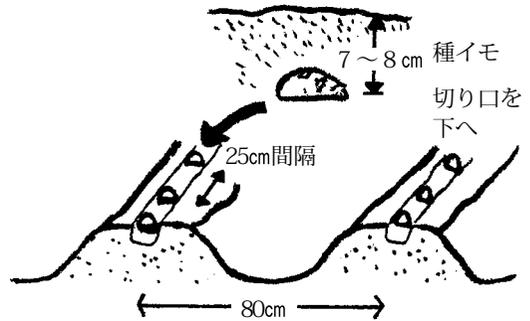


大きいものは縦半分に
切る

非常に大きいものなら
縦4つに切る

2. 植え付け

覆土の厚さは7~8cm



今月の作業

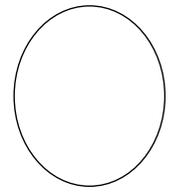
★冬越し野菜の追肥

タマネギ、ニンニク、キヤベツ、ブロッコリー、ホウレンソウ、シュンギクなどの野菜は、化成肥料を1㎡当たり五〇〇g条間に施し、中耕・土寄せを行います。

★防寒対策

切りワラや堆肥を野菜のまわりに敷き詰め、寒さや霜から守りましょう。
ホウレンソウ、シュンギク、レタスなどの葉菜類はタフベルやビニールトンネルをかけて傷みを防ぎましょう。ハクサイは外葉で結球を包み、ワラやひもで縛ると遅くまでおくことができます。

楽しい家庭菜園



農業試験場三木分場
伊藤 博紀

ジャガイモを作ろう！

家庭菜園としては、手間もかからず、収穫も多いので、作りがいのある野菜です。カリウム、ビタミンCの他、デンプン、ビタミンBを含んでいて、栄養も十分です。

●栽培のポイント
種イモで伝染する病害が多いので、種イモ検査に合格したものを用います。ナス科の野菜とは連作せず、三～四年の輪作が必要です。また、土寄せをしつかりやり、根元を保護してあげましょう。

●家庭菜園に適した品種
ジャガイモは春作と秋作ができます。春作には味も良く、育てやすい男爵、メークインがあります。

●植え付けほ場の準備
植え付けの1～2週間前までに、1㎡当たり400～500gの苦土石灰とようりん、化成肥料1kgに堆肥を施用し、一条植は70～80cm、二条植は120cmの畝立てをしておきます。

●種イモの準備
種イモは図のように、芽を均等につけて適当な大きさに切って使います。だいたい三〇～四〇gぐらいの大きさが適当です。植え付けまで日陰で切り口を乾燥させます。

●植え付け
普通の地帯では、二月中旬～三月上旬に植え付けます。これより早だしをねらうにはビニールトンネルを覆うとよいでしょう。

●植え付けは、植溝に二五cm間隔に種イモの切り口を下にして置き、その上に七～八cmの厚さで覆土します。

●手入れ
植え付け後、一五～二〇日たつと芽が地上に伸びてきます。草丈が一〇cm程度のにきに、勢いのよい芽を二本残して元から取り除きましょう。

●土寄せはイモの肥大と日光に当たって品質が落ちるのを防ぐ大切な作業です。芽が一五cm伸びたときと開花前の二回、三〇〇～四〇〇gの化成肥料を追肥したのち、土寄せをします。

●収穫
花が咲いているころから探り掘して、新ジャガの味を楽しみましょう。収穫期になると茎葉が黄色くなつてきます。晴天が続ぎ土が乾いている時を見計らってイモを傷つけないように掘り取り、屋内で四～五日風乾させ貯蔵します。

●表面が湿ったまま積み上げると、たいへん腐りやすくなるし、天日にさらしすぎると緑化して、品質をそこねますので注意して下さい。

栽培時期

栽培型	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	適する品種
春作			△	△	—	—	■							男爵 メークイン

△植え付け ■収穫